

2. 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進

ア 子どもや母親の健康の確保

①実施状況

子どもや母親の健康確保のため次の健康診査を実施しています。

- ・乳児（3～4か月児）健診
- ・1歳6か月児健診
- ・3歳児健診
- ・医療機関健診（妊婦一般健診・乳児一般健診・各種精密検査）
- ・2歳児歯科検診
- ・妊婦歯科検診

また、訪問指導・健康相談（育児相談・妊産婦相談）・妊婦学級なども実施しています。

これらの事業を進めるにあたっては、津山市愛育委員連合会、津山市栄養改善協議会、津山市社会福祉協議会などの協力を得ながら実施しています。特に愛育委員連合会は、妊婦さんへの声かけや「おめでとう訪問」等などの活動を実施、“地域のお母さん”としての役割を果たしています。

乳児健診実施状況

単位：人・%

区分 年度	対象児数	受診児数	受診率(%)	有所見児 数	生後3か月までの栄養		
					母乳(%)	混合(%)	人工(%)
平成11年度	986	901	91.4	233	38.7	47.6	13.7
12	972	904	93.0	295	37.5	48.1	14.4
13	1,013	950	93.8	344	37.1	45.8	17.2
14	989	921	93.1	378	35.6	45.5	18.9
15	934	871	93.3	348	32.8	48.9	18.4

県の事業である神経芽細胞腫検査は平成15年度で廃止となった。

乳児健診の有所見児の内訳（平成15年度延べ件数）

単位：人

股関節脱臼 (疑)	心雑音	発育異常	皮膚疾患	停留睪丸	陰嚢水腫	ヘルニア	その他
43	10	13	167	1	1	16	97

乳児健診未受診状況

単位：人

区分 年度	未受診児数	把握方法					未受診理由		
		訪問 (留守再掲)	電話	窓口	転出 死亡	未把握 (連絡不可)	病院で 受診	その他	不明
平成11年度	85	32(6)	31	6	5		43	8	10
12	68	22(11)	27	4	6		21	23	25
13	63	31(15)	15	3	12	2	10	27	12
14	68	23(17)	24	4	14	6	21	15	32
15	63	25(23)	24	1	14	18	17	8	38

その他の理由は体調不良等が多い。

乳児健診後の状況

単位：人

区分 年度	身体面(定額・開排制限等)		
	フォロー完 了	経過観察中	未把握 (連絡不可)
平成13年度	91	17	12
14	51	16	30
15	14	12	42

1歳6か月児健診実施状況

単位：人・%

区分 年度	対象児数	受診児数	受診率(%)	身体面の 有所見児数	むし歯 り患率(%)	心理相談員相談状況		
						相談者 数	相談者の主訴	
							言語	育児
平成11年度	952	854	89.7	122	3.3	46	36	10
12	968	881	91.0	174	3.2	41	28	13
13	989	907	91.7	189	5.0	60	38	22
14	971	899	92.6	256	6.6	58	34	24
15	985	917	93.1	351	2.0	85	50	35

1歳6か月児の有所見児の内訳（平成15年度延べ人数）

単位：人

歩行遅延	皮膚疾患	言葉の遅れ	呼吸器疾患 (疑)	心雑音	眼疾患(疑)	その他
4	109	129	18	15	18	58

1歳6か月児健診未受診状況

単位：人

区分 年度	未受診児 数	把握方法					未受診理由		
		訪問 (留守再掲)	電話	窓口	転出	アンケート 返却	病院で 受診	その他	不明
平成13年度	82	4(2)	18	0	3	13	6	15	57
14	72	1(1)	3	0	12	16	5	7	60
15	68	0	6	0	7	26	8	24	36

1歳6か月児健診後の状況

単位：人

区分 年度	身体面(歩行等)			ことば・行動面			
	フォロー完了	経過観察中	放置	フォロー完了	フォロー中	他機関へ	放置
平成13年度	18	4	3	52	44	9	15
14	6	4	3	15	59	4	29
15	1	1	1	19	84	3	44

3歳児健診実施状況

単位：人

区分 年度	対象者数	受診数	受診率(%)	身体面の 有所見児 数	むし歯 罹患率(%)	心理判定員相談状況		
						相談者 数	相談者の主訴	
							言語	育児
平成11年度	972	841	86.5	116	33.8	65	49	16
12	917	818	89.2	154	27.4	63	39	24
13	1,026	871	84.9	229	26.6	60	33	27
14	929	810	87.2	223	30.4	52	19	33
15	960	863	89.9	226	27.9	72	32	40

3歳児健診の有所見児の内訳（平成15年度延べ人数）

単位：人

皮膚疾患	眼の異常	心疾患	ヘルニア	言語障害	呼吸器疾患	その他
40	18	7	3	18	5	135

3歳児健診未受診状況

単位：人

区分 年度	未受診児数	把握方法					未受診理由		
		訪問 (留守再掲)	電話	窓口	転出	アンケート 返却	病院で 受診	その他	不明
平成13年度	155	6(5)	8	0	3	47	8	45	72
14	119	3(3)	6	1	23	16	1	13	96
15	97	0	4	0	12	22	6	20	71

3歳児健診後の状況

単位：人

区分 年度	身体面(検尿・耳鼻科・眼科等)			ことば・行動面			
	フォロー 完了	経過観察中	放置	フォロー 完了	フォロー中	他機関へ	放置
平成13年度	28	0	3	26	22	6	18
14	15	0	2	2	21	4	13
15	1	0	0	13	20	1	35

平成13年2月より郵送で未受診者に発達の状況を聞くアンケートを始めたが、平成15年度の回収率は1歳6か月児健診未受診者で4割、3歳児健診未受診者では3割であった。アンケートでも状況把握ができなかったものは、健診未受診者台帳で管理し、地区担当保健師が訪問や電話などで状況把握につとめている。

平成15年度は心理相談員への相談が増加している。ことばの遅れを主訴とするもの以外に、かんが強い・よく動くなど育てにくさからくる育児についての相談も多く寄せられている。

愛育委員活動における声かけ訪問内訳

単位：件

内容 年度	妊産婦への声かけ	乳幼児への声かけ	青少年への声かけ
平成11年度	1,943	13,724	990

1 2	1, 716	10, 704	1, 057
1 3	1, 648	11, 657	1, 646
1 4	4, 525	30, 269	21, 489
1 5	6, 035	38, 547	48, 719

②評 価

乳児健診の受診率は平成15年度93.3%でほぼ横ばい状態です。有所見児の内訳は、皮膚疾患が多く見受けられます。乳児健診では、平成13年9月よりブックスタート(絵本を通して親子が楽しいふれあいの時間を過ごそうという運動)を開始し、乳児期から楽しめる絵本50選のリストを配付しています。平成14年9月からは企業から寄贈された絵本を配布し、好評です。

1歳6か月児健診は平成15年度の受診率は93.1%で、わずかに増加傾向です。発達等の気になる児については、心理相談員が健診の場で相談を受けています。また、経過観察の必要なケースについては、言葉の相談等につなぎ、親のかかわり方などの助言・指導を行っています。むし歯罹患率については、平成15年度は2.0%と減少しました。3歳児健診については、平成15年度の受診率は89.9%で平成14年度に比べ増加しています。

むし歯罹患率は『3^{さんさんまる}30』※を達成しました。

各健診未受診児に対しては、アンケート(発達)の実施や、保健師による訪問、電話などで、状況把握に努めています。また、母子手帳交付時に、質問項目を増やし、育児のサポートづくりに努めています。今後も受診率の向上に向け取り組んでいく必要があります。

妊婦学級は、妊娠中、及び、産後の健康管理と友達づくりの場として役立っています。育児相談、妊産婦相談や「すくすく育児テレフォン」は、育児の悩みなどについて気軽に相談できる場であり、継続、強化していくことが必要です。

※『330』：3歳児のう蝕有病者を30%以内にする事。

イ 「食育」の推進

①実施状況

「食育」の推進のため乳児健診、離乳食教室にて、離乳食指導や実習試食会を開催しています。妊婦学級においても、食に関する研修の機会を設けています。また、健康つやま21の推進事業として「朝食を毎日食べましょう」パンフレットを小、中学生へ配布

し、啓発に努めています。

地域では、愛育委員会・栄養委員会の協力のもと、親子クラブや、小学校高学年を対象にした親子料理教室を開催。食づくり等の体験活動等を通し、正しい食生活の習慣づくりを啓発しています。

離乳食教室実施状況

単位：回・人

区分 年度	中期(7～8か月)		後期(9～11か月)	
	実施回数	参加人数(組)	実施回数	参加人数(組)
平成12年度	4	29	4	25
13	5	48	3	31
14	8	57		
15	8	61		

14年度から対象7～11か月とした。

健康教育実施状況

単位：回・人

区分 年度	栄養教室			
	回数	参加者	回数	参加者
平成11年度	9	271		
12	親子料理教室		親子クラブ指導	
	5	146	3	92
13	4	98	2	52
14	5	92	献立支援のみ 5回	
15	5	86	2	72
	献立支援のみ 1回		献立支援のみ 2回	

②評価

「食育」の推進のためには、あらゆる機会を通じて「食」の重要性について啓発、学習の場を設けていくことが重要です。そのため、教育分野や愛育委員、栄養委員などとの連携をさらに強めていく必要があります。

ウ 思春期保健対策の充実

①実施状況

思春期の保健対策として以下の取組みを行ってきました。

- ・美作大学における学生への健康相談
～健康つやま21の推進として白梅祭において実施（130人参加）
- ・津山保健所主催のエイズ予防出前健康教育の啓発
～平成15年度一津山高校：360人一津山工業：320人
津山商業：800人一津山高専：180人
- ・愛育委員による青少年への声かけ活動、学習会を通じ、委員の知識の啓発。
- ・就学指導委員会への協力、及び、学校保健委員会との連携、また、小、中学校養護教諭や小学校栄養士との随時連携、連絡
- ・たばこ・アルコール対策～健康つやま21アンケートの実施
高校生意識調査結果
喫煙経験あり一男子高校生：約40%一女子高校生：約25%
きっかけ一「なんとなく」「興味本位」

②評価

10歳代の人工妊娠中絶、性感染症罹患率の増大等の問題に対処する為、いろいろな機会をとらえ、関係機関連携の中で、性や感染症予防に関する正しい知識の普及を図ることが必要です。

愛育委員による青少年への声かけ活動を更に進めることにより、地域での見守りを強化することが必要です。また、喫煙や薬物等に関する教育や学童期・青少年期における心の問題のケアに関しても、教育委員会、他専門機関と連携し、相談体制の充実を図ることが必要です。

エ 小児医療の充実、小児保健水準の維持・向上

①実施状況

いつでも安心して治療を受けられる体制を目指して、津山市医師会・津山圏域消防組合の協力を得て、休日及び夜間の救急医療に24時間体制で対応しています。津山市救急医療対策運営協議会ではリーフレットを作成し啓発に努めています。

また、小児の救急に際し、保護者等が安心感をもって対応できることを目的とし、岡山県が実施主体で小児救急医療電話相談事業が開始されました。この電話相談の利用啓発を図っています。

不慮の死亡事故（平成14年）

単位：人

	0歳	1－4歳	5－9歳
岡山県	3	6	8
津山市	0	0	0

低体重出生児の状況（平成14年）

単位：%

	極低出生児	低出生児
岡山県	0.7	8.4
津山市	0.6	11.0

②評価

子どもが、地域において、いつでも安心して医療サービスを受けられるよう小児医療の充実を図ること、特に、休日、夜間における、小児救急患者を受けられる、小児救急医療体制の整備を推進することが必要です。また、全出生数中の極低出生児の割合、全出生数中の低出生児の減少や、不慮の死亡事故のゼロ（平成14年津山市）を維持させる取り組みを進めることが必要です。